

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 5 月 27 日 (2021.5.27)

【公開番号】特開 2020-6288 (P2020-6288A)

【公開日】令和 2 年 1 月 16 日 (2020.1.16)

【年通号数】公開・登録公報 2020-002

【出願番号】特願 2018-126881 (P2018-126881)

【国際特許分類】

B 0 1 F 7/16 (2006.01)

B 2 5 F 5/00 (2006.01)

B 2 5 F 5/02 (2006.01)

B 0 1 F 7/26 (2006.01)

B 0 1 F 15/00 (2006.01)

B 0 1 F 15/06 (2006.01)

【F I】

B 0 1 F 7/16 A

B 2 5 F 5/00 H

B 2 5 F 5/02

B 0 1 F 7/26 Z

B 0 1 F 15/00 C

B 0 1 F 15/06 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 4 月 14 日 (2021.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ハウジングと、

前記ハウジング内で回転軸を前方に向けて収容されるモータと、

前記モータにより回転駆動し、前記ハウジングから突出してミキシングブレードを着脱可能な最終出力軸と、

前記回転軸の回転により回転するファンと、

前記ハウジングの下部に配置されるバッテリー装着部と、を含み、

前記ハウジングにおける前記モータの下方で側面を除く所定領域に、前記ファンの回転により外気を吸引する吸気口が設けられていることを特徴とする攪拌機。

【請求項 2】

前記ハウジングにおける前記吸気口の上方には、前記ファンの回転により吸引された空気の排気口が設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の攪拌機。

【請求項 3】

前記ハウジングの内部において、前記吸気口と前記排気口との間には、第 1 の仕切り肋が形成されていることを特徴とする請求項 2 に記載の攪拌機。

【請求項 4】

前記バッテリー装着部には、制御回路基板が配置されており、

前記制御回路基板と前記吸気口との間には、第 2 の仕切り肋が形成されていることを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れかに記載の攪拌機。

【請求項 5】

前記モータは、ステータと、前記ステータに対して回転可能なロータと、を有し、
前記ロータの前方には、ファンが配置されており、
前記排気口は、前記ファンの後方に配置されていることを特徴とする請求項 2 又は 3 に
記載の攪拌機。

【請求項 6】

前記ハウジング内で前記第 2 の仕切りブの後側には、前記モータと前記制御回路基板と
を電氣的に接続するリード線の配線空間が形成されていることを特徴とする請求項 4 に記
載の攪拌機。

【請求項 7】

前記ハウジングは、前記モータを収容する筒状のモータ収容部を有すると共に、前記モ
ータ収容部の後部に、ループ状のハンドルを連設してなり、前記ハンドルの下部に前記バ
ッテリー装着部が配置されて、前記ハンドルにおける前記モータ収容部と前記バッテリー
装着部とを連結する連結部に、前記吸気口が形成されていることを特徴とする請求項 1 乃
至 6 の何れかに記載の攪拌機。

【請求項 8】

前記吸気口又は前記排気口は、前記ハウジングの前面に設けられる一方、前記ハウジン
グの前方にはガード板が装着されて、前記吸気口又は前記排気口の形成領域の少なくとも
一部は、正面視で前記ガード板で覆われていることを特徴とする請求項 1 乃至 7 の何れか
に記載の攪拌機。

【請求項 9】

前記バッテリー装着部には、バッテリーパックが装着されていることを特徴とする請求
項 1 乃至 8 の何れかに記載の攪拌機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するために、請求項 1 に記載の発明は、ハウジングと、ハウジング内で回転軸を前方に向けて収容されるモータと、モータにより回転駆動し、ハウジングから突出してミキシングブレードを着脱可能な最終出力軸と、回転軸の回転により回転するファンと、ハウジングの下部に配置されるバッテリー装着部と、を含み、ハウジングにおけるモータの下方で側面を除く所定領域に、ファンの回転により外気を吸引する吸気口が設けられていることを特徴とする。

請求項 2 に記載の発明は、上記構成において、ハウジングにおける吸気口の上方には、
ファンの回転により吸引された空気の排気口が設けられていることを特徴とする。

請求項 3 に記載の発明は、上記構成において、ハウジングの内部において、吸気口と排
気口との間には、第 1 の仕切りブが形成されていることを特徴とする。

請求項 4 に記載の発明は、上記構成において、バッテリー装着部には、制御回路基板が
配置されており、制御回路基板と吸気口との間には、第 2 の仕切りブが形成されているこ
とを特徴とする。

請求項 5 に記載の発明は、上記構成において、モータは、ステータと、ステータに対し
て回転可能なロータと、を有し、ロータの前方には、ファンが配置されており、排気口は
、ファンの後方に配置されていることを特徴とする。

請求項 6 に記載の発明は、上記構成において、ハウジング内で第 2 の仕切りブの後側
には、モータと制御回路基板とを電氣的に接続するリード線の配線空間が形成されているこ
とを特徴とする。

請求項 7 に記載の発明は、上記構成において、ハウジングは、モータを収容する筒状の
モータ収容部を有すると共に、モータ収容部の後部に、ループ状のハンドルを連設してな

り、ハンドルの下部にバッテリー装着部が配置されて、ハンドルにおけるモータ収容部とバッテリー装着部とを連結する連結部に、吸気口が形成されていることを特徴とする。

請求項 8 に記載の発明は、上記構成において、吸気口又は排気口は、ハウジングの前面に設けられる一方、ハウジングの前方にはガード板が装着されて、吸気口又は排気口の形成領域の少なくとも一部は、正面視でガード板で覆われていることを特徴とする。

請求項 9 に記載の発明は、上記構成において、バッテリー装着部には、バッテリーパックが装着されていることを特徴とする。